

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 10 月 25 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/25 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	28.9	105.7 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.05 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	38.4	11.59 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 0.9 m ³ /h	38.1	0.23 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 4.5 m ³ /h			B系： 0.09 vol%

*1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

・H25/10/16 10:09 頃 ~ 2号機サプレッションチェンバ内部の気体が原子炉格納容器ドライウェル側へ移動していることの有無を確認するための窒素ガスの封入を実施中。

[3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況]

・H25/10/22 7:45 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ(10/22 7:50 時点): 気温 14.8、湿度 97.1%)
プラント状況、モニタリングポストの指示値等異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/25 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	21.5
2号機	循環冷却システム	運転中	23.3
3号機	循環冷却システム	運転中	20.3
4号機	循環冷却システム	運転中	26

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	10/23 17:39 ~ 10/25 10:17 移送実施
	2号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	10/25 10:58 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋 [高温焼却炉建屋])	10/22 14:53 ~ 移送実施中

・7/16 13:00 ~ 5, 6号機屋外の仮設タンク(9基)には、震災時に5, 6号機各建屋に流入した海水および地下水(メガフロート水)を貯蔵しているが、本仮設タンク水を5, 6号機タービン建屋滞留水と同様に淡水化処理(RO)を行うため、6号機北側にあるFエリアタンクへ移送を開始。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (10/25 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	運転中	運転中*	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	C系ホット 試験中

*フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/8/8 12:55～ 6/15 に多核種除去設備A系で発生したバッチ処理タンクからの水漏れについて、現在A系で実施している腐食防止対策をB系でも実施するため、同設備B系を停止。
再発防止対策を実施した上で、C系は9/27にホット試験を開始。A系は10/28、B系は11月以降を目処にホット試験を再開予定。

< 5. その他 >

- ・H25/7/25～8/23 3号機原子炉建屋1階南西エリアについて無人重機による撤去作業を実施。3号機原子炉建屋1階南西エリア以外のガレキ撤去に向けて、落下ガレキ養生材の撤去ならびに窒素供給ホースを移動する間に、1号機原子炉建屋1階の無人重機によるガレキ撤去を実施する。9/12から準備作業を開始し、適宜、1号機原子炉建屋1階のガレキ撤去作業を実施していたが、10/25撤去作業が完了。今後、準備が整い次第、3号機原子炉建屋1階南西エリア以外についてガレキ撤去作業を実施する予定。
- ・H25/10/21 13:50～ 6号機において、燃料集合体を原子炉内から使用済燃料プールへ移動させる作業を実施中。
- ・H25/10/24 0:13～ 台風27号の対策として、以下の堰内の水について、堰内の水位を低下させることを目的に、一時的な貯蔵先として、地下貯水槽No.4への移送を順次実施中。
 - < H1東エリア(10/23 21:30 採取分) >
 - ・セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値:14[Bq/L])
 - ・セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値:20[Bq/L])
 - ・ストロンチウム 90 :40[Bq/L]
 - < H2北エリア(10/23 21:10 採取分) >
 - ・セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値:14[Bq/L])
 - ・セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値:20[Bq/L])
 - ・ストロンチウム 90 :110[Bq/L]
 - < H2南エリア(10/23 21:00 採取分) >
 - ・セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値:14[Bq/L])
 - ・セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値:20[Bq/L])
 - ・ストロンチウム 90 :970[Bq/L]
 - < H3エリア(10/23 21:20 採取分) >
 - ・セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値:14[Bq/L])
 - ・セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値:19[Bq/L])
 - ・ストロンチウム 90 :590[Bq/L]
 - < H4エリア(10/23 21:00 採取分) >
 - ・セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値:13[Bq/L])
 - ・セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値:19[Bq/L])
 - ・ストロンチウム 90 :29[Bq/L]
 - < H4東エリア(10/23 20:50 採取分) >
 - ・セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値:14[Bq/L])
 - ・セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値:20[Bq/L])
 - ・ストロンチウム 90 :460[Bq/L]
- ・H25/10/24 15:02～ 台風27号の対策として、以下の堰内の水について、堰内の水位を低下させることを目的に、一時的な貯蔵先として、地下貯水槽No.7への移送を順次実施中。
 - < H5エリア(10/24 8:50 採取分) >
 - ・セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値:13[Bq/L])
 - ・セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値:19[Bq/L])
 - ・ストロンチウム 90 :74[Bq/L]
 - < H6エリア(10/24 8:50 採取分) >
 - ・セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値:15[Bq/L])
 - ・セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値:21[Bq/L])
 - ・ストロンチウム 90 :200[Bq/L]
- ・H25/10/23 11:10～ 4号機使用済燃料プールに保管された燃料の取り出しに先駆けて、燃料取り出し用カバー内空気を換気するための換気設備(給気フィルタ、送風機、排気フィルタ、排風機等で構成)の試運転

を開始。当該換気設備については、本格運用前の10/23から10/30まで試運転を行い、10/31に検査を受検する予定。

【H4エリアタンク・B南エリアからの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・10/6 H4エリア グループ No.5タンクの側板1段目の解体を実施。
- ・10/7 H4エリア グループ No.5タンクの底板部の解体を実施。

<最新のパトロール実績(10/24)>

- ・高線量当量率箇所(+ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(堰内溜まり水箇所の漏えいを除く)を確認。
- ・サーモグラフィーによる水位確認(10/23撮影分の分析結果)については、雨の影響により撮影ができなかったため実施せず。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・10/23 採取分の地下観測孔E-1の全ベータ放射能およびトリチウムは、前回と同程度の高い値で推移している。引き続き監視を継続する。なお、その他の地点の分析結果については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・10/24 採取分のB排水路内採取地点(B-1)、(B-2)の全ベータ値は前回(10/23採取)に比べて低下し、B排水路内採取地点(B-3)の全ベータ値は前回(10/23採取)に比べて高くなっているが、B排水路溜まり水の回収をB排水路内採取地点(B-3)で行っていること(B排水路の上流側の水(B-1)、(B-2)が下流側(B-3)に移動)によるものと考えている。その他の地点の分析結果については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。引き続き監視を継続する。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は
10/25 0:00時点で約4,567m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。(有意な変動なし)
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1の汚染範囲調査開始。
- ・H25/10/23～ 地下貯水槽 No.6において浮き上がり対策を実施中。

以上